

# えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト



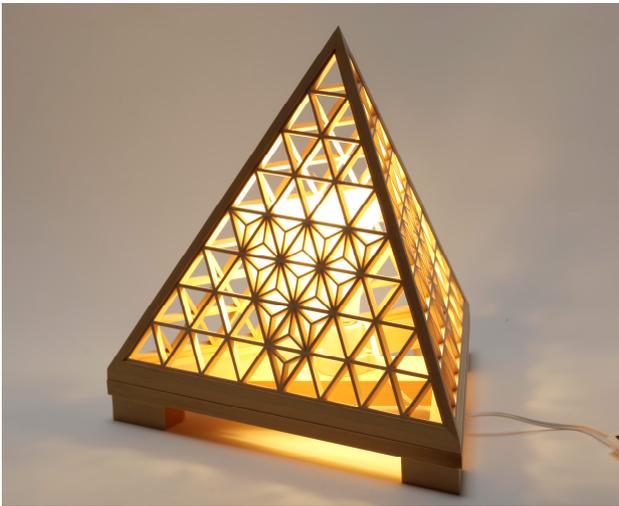
組子建具 山川 英夫 Hideo Yamakawa

「組子細工」は、建具師が主に障子や襖などの装飾に用いる日本の伝統技術です。釘などを一切使わず、細かく切った木片を手作業で組み合わせることで、様々な文様を生み出します。組子には 200 種類以上の複雑な文様があり、そのほとんどが江戸時代に生まれたものです。山川氏はその文様を巧みに用い、建具だけでなく照明や小物など様々な作品を手掛けています。

## 2018 年度 新作紹介

( 価格記載作品は「[えどコレ!](#)」にて順次販売予定。掲載価格は 2019 年 1 月現在の税込価格です。)

### 万華鏡



照明 73,440 円  
デザイン：女子美術大学 木島 由佳

### 晶姫（あきひめ）



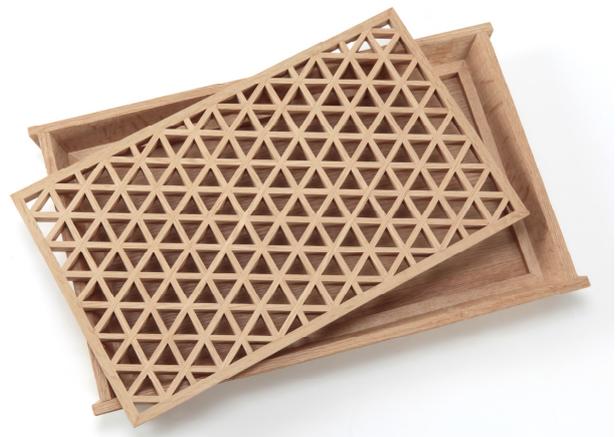
くし 12,960 円  
デザイン：女子美術大学 黒川 詩織

### ブックエンド ~ F u j i ~



ブックエンド 10,800 円  
デザイン：女子美術大学 小久保 香耶

### 沈む「お茶トレイ」



茶盆 43,200 円  
デザイン：女子美術大学 徐 仙和

## 日向ぼっこ



ランプ 14,040 円  
デザイン：女子美術大学 田巻 育海

## 組子時計



懐中時計 各 6,912 円  
デザイン：女子美術大学 萩原 睦

## 凜輪-りんりん-



テープカッター 14,040 円  
デザイン：女子美術大学 横瀬 芽実依